

屋島の歴史年表

西暦	年号	主な出来事
5世紀初頭		屋島長崎ノ鼻古墳が築造される。
667		屋嶋城が築城される。（『日本書紀』）
754	天平勝宝6	鑑真，屋島寺を開基し，屋島北嶺の地に堂宇を構えたと伝えられる。
810	弘仁元	空海，北嶺の堂宇を南嶺の地に遷して真言密教の道場にしたと伝えられる。
平安中期		屋島寺本尊である木造千手観音坐像がつくられる。
937	承平7	屋島南麓に大宮八幡神社が創建される。
1185	文治元	屋島檀ノ浦において，源平合戦が行われる。
1223	貞応2	屋島寺梵鐘が鑄造される。
鎌倉末期		屋島寺本堂が建立される。
1618	元和4	龍巖上人，屋島寺本堂の解体修理を行う。
1637	寛永14	埋め立てにより，屋島は陸続きとなる。
1643	寛永20	佐藤継信の墓が初代高松藩主松平頼重によって建てられる。
1647	正保4	松平頼重，陸続きとなった屋島相引の地に相引川を切り開く。
貞享・元禄年間 (1684～1704)		一般民衆の間に四国遍路が盛行し，屋島寺が第84番札所となる。 以降，遍路道が整備される。
1815	文化12	8代高松藩主松平頼儀，屋島南麓に屋島東照宮を建立する。
1863	文久3	藤川三溪，藩命により屋島長崎ノ鼻に砲台を築く。
1911	明治44	高松・志度間に東讃電気軌道が開通して西潟元駅と屋島駅が設けられる。
1920	大正9	屋島が香川県立国定公園に指定される。
1922	大正11	屋島山上北嶺を巡る回遊路が完成する。
1925	大正14	高松・志度間に鉄道が開通して，屋島駅が設けられる。
1929	昭和4	屋島ケーブルが開業する。
1934	昭和9	屋島が瀬戸内海国立公園に指定される。 屋島が史跡および天然記念物に指定される。
1935	昭和10	屋島山麓を回る一周道路が開通する。
1936	昭和11	屋島登山道および山上南嶺を巡る回遊道路の舗装工事が完成する。
1939	昭和14	国道22号高松・牟礼間のコンクリート舗装が完了し，別名「観光道路」と呼ばれる。
1940	昭和15	屋島町が高松市に編入される。
1943	昭和18	戦争の激化に伴い，屋島ケーブルが閉鎖される。
1950	昭和25	戦争によって閉鎖されていた屋島ケーブルが営業運転を再開する。
1953	昭和28	屋島陸上競技場が完成し，第8回国民体育大会開会式が行われる。

西暦	年号	主な出来事
1955	昭和30	屋島寺所蔵の木造千手観音坐像が国の重要文化財に指定される。 屋島寺本堂が国の重要文化財に指定される。
1961	昭和36	屋島ドライブウェイが開通する。
1967	昭和42	屋島寺所蔵の梵鐘が国の重要文化財に指定される。
1969	昭和44	屋島山上水族館が開館する。
1971	昭和46	屋島東町に香川県水産試験場が完成する。 香川県中央都市計画区域が定められ、屋島地区でも市街化区域および市街化調整区域の線引きが行われる。
1972	昭和47	屋島に過去最高の246万人もの観光客が訪れ、観光の黄金期を迎える。
1975	昭和50	屋島東町に屋島少年自然の家が開館する。
1976	昭和51	香川県が史跡天然記念物屋島保存管理計画を策定する。 屋島南麓に財団法人四国民家博物館が開館する。
1982	昭和57	屋島東町に屋島東小学校が開校する。 屋島西町に東部下水処理工場が完成する。 屋島西町に都市計画道路高松海岸線が開通する。
1983	昭和58	屋島西町に屋島西小学校が開校する。
1985	昭和60	源平フェスティバル（源平合戦八〇〇年祭）が開催される。
1986	昭和61	屋島西町に都市計画道路屋島東山崎線が開通する。
1998	平成10	屋島南嶺において、民間研究者が屋嶋城跡の石垣を確認する。
2000	平成12	屋島北嶺において、千間堂跡の仏堂跡を確認する。
2002	平成14	屋島南嶺において、高松市教育委員会が屋嶋城跡の城門遺構を確認する。
2004	平成16	屋島ケーブルが休止される。 高松市が史跡天然記念物屋島保存管理計画を改訂する。
2005	平成17	屋島ケーブルが廃止される。
2006	平成18	新屋島水族館がリニューアルオープンする。
2006	平成18	屋島山上シャトルバスの運行を開始する。
2008	平成20	高德線屋島駅に観光案内スペースを設置する。